

# 東北歴史博物館における被災 ミュージアム再興事業

というご依頼でしたが、個別の事業紹介ではなく宮城県の被災資料保全活動という切り口で

全国歴史民俗系博物館協議会 令和3年度年次集会(第9回)  
(2022年2月16日 東北歴史博物館)

1

## 被災ミュージアム再興事業とは

2012 (H24) 制定

### 趣旨・目的

- 東日本大震災により被災した美術館・歴史博物館の再興を図ることにより東日本大震災からの復興に資することを目的とする。

### 補助事業者

- 特定被災地方公共団体である市町村を管轄する**道県**

宮城, 岩手, 福島, 2015(H27)までは茨城も

2

# 東日本大震災の宮城県

## 文化財レスキュー対象

118案件

約2万件(数十万点以上)



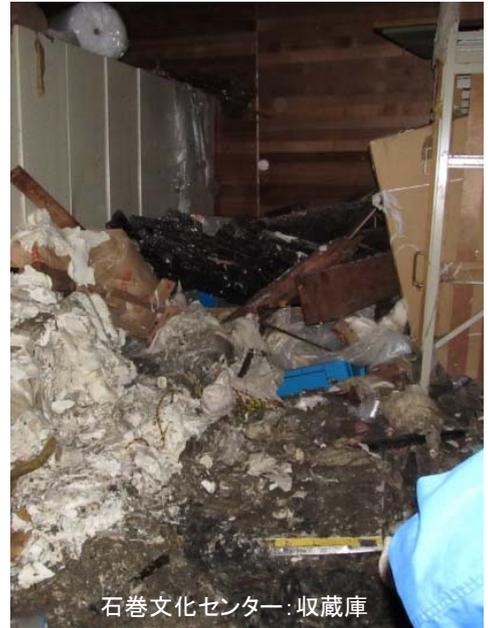
石巻文化センター：外観



気仙沼市唐桑漁村センター



東松島市野蒜文化財収蔵庫



石巻文化センター：収蔵庫

# 東日本大震災の東北歴史博物館

## 被災館

- 施設・設備
- 資料

自館のことを考える

## 県立博物館

- 文化財スキュー事業
- 県内被災資料の保全

宮城県のことを考える

「宮城県被災文化財等保全連絡会議」代表幹事館・事務局



## 施設 本館

## 被災状況

- 建物：建物周囲浮沈，内外壁剥離・ヒビ多数
- 今野家住宅：土台ずれ，漆喰・土壁部剥落，ヒビ多数
- 展示室等：展示ケースにキズ，照明部品の落下
- 展示資料：5点破損，11点転倒
- 収蔵資料：土器等十数点破損，箱十数点転倒

## 浮島収蔵庫

- 建物：周囲沈下，通路陥没，屋根，壁体亀裂，窓破損
- 収蔵棚：傾斜，移動
- 資料：箱数百点転倒，土器等約300点破損

# 被災ミュ対象事業種別の推移

対象事業	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
①被災した博物館資料を修理するための事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②修理した資料の整理・データベース化を行う事業	○	○	○	○					
③応急措置を施した資料を收藏する場所を確保する事業	○	○	○	○					
④博物館の復興に向けた事業	○	○	○	○					
⑤被災した博物館の資料を活用した展覧会を開催する事業	○	○							
⑥その他博物館の復興に資する事業	○	○							

助成範囲が年々狭く...

5

## 東歴博の被災ミュージアム再興事業①

年度	分類	内容
2012	33修理	被災館蔵資料修理（縄文土器修理140点，癒着軸物54点）
	34修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（宮被保委託）
	35整理	被災館蔵資料再整理（歴史資料3000点，美術工芸品300点）
	36收藏	收藏棚増設・既存施設改修(石巻文化センター資料一時保管用)
	37收藏	被災館蔵資料(考古資料)の保管場所の整備・再配架
	39復興展覧会	特別展「美しき東北の街並み -鳥のまなざし 吉田初三郎の世界-」 被災文化財復興パネル展示:『被災文化財復興への足音』 被災地における砂金取り体験教室(南三陸町代替) 文化財の復興パネル展のホームページ公開準備
2013	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（宮被保委託）
	35整理	被災館蔵資料整理・登録・配架(考古資料9000箱)
	37收藏	プレハブ收藏庫設置(考古資料3400箱)
	39展覧会	1被災館蔵資料小展示「修復された被災文化財-中ノ内A・B遺跡の縄文土器-」 ②特別展「神さま仏さまの復興」

6

# 東歴博の被災ミュージアム再興事業②

年度	分類	内容
2014	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（宮被保委託）
	33-2 修理	今野家住宅修理①
	37収蔵	別館浮島収蔵庫修理・環境整備①（雨漏り，除湿器排水ドレン設置）
2015	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（宮被保委託）
	33-2 修理	今野家住宅修理②
	37収蔵	別館浮島収蔵庫修理・環境整備②（雨漏り，除湿器排水ドレン設置）
2016	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（宮被保委託）
2017	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（東歴博直轄）
2018	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（東歴博直轄）
2019	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（東歴博直轄）
2020	33修理	宮城県内被災ミュージアム等所蔵資料保全事業（東歴博直轄）

宮被保解散にともない

7

## 宮城県が目指したこと

背景

被災した場所が多数，資料も膨大

なので

各機関が，自分たちで，対処できる・する

そのために

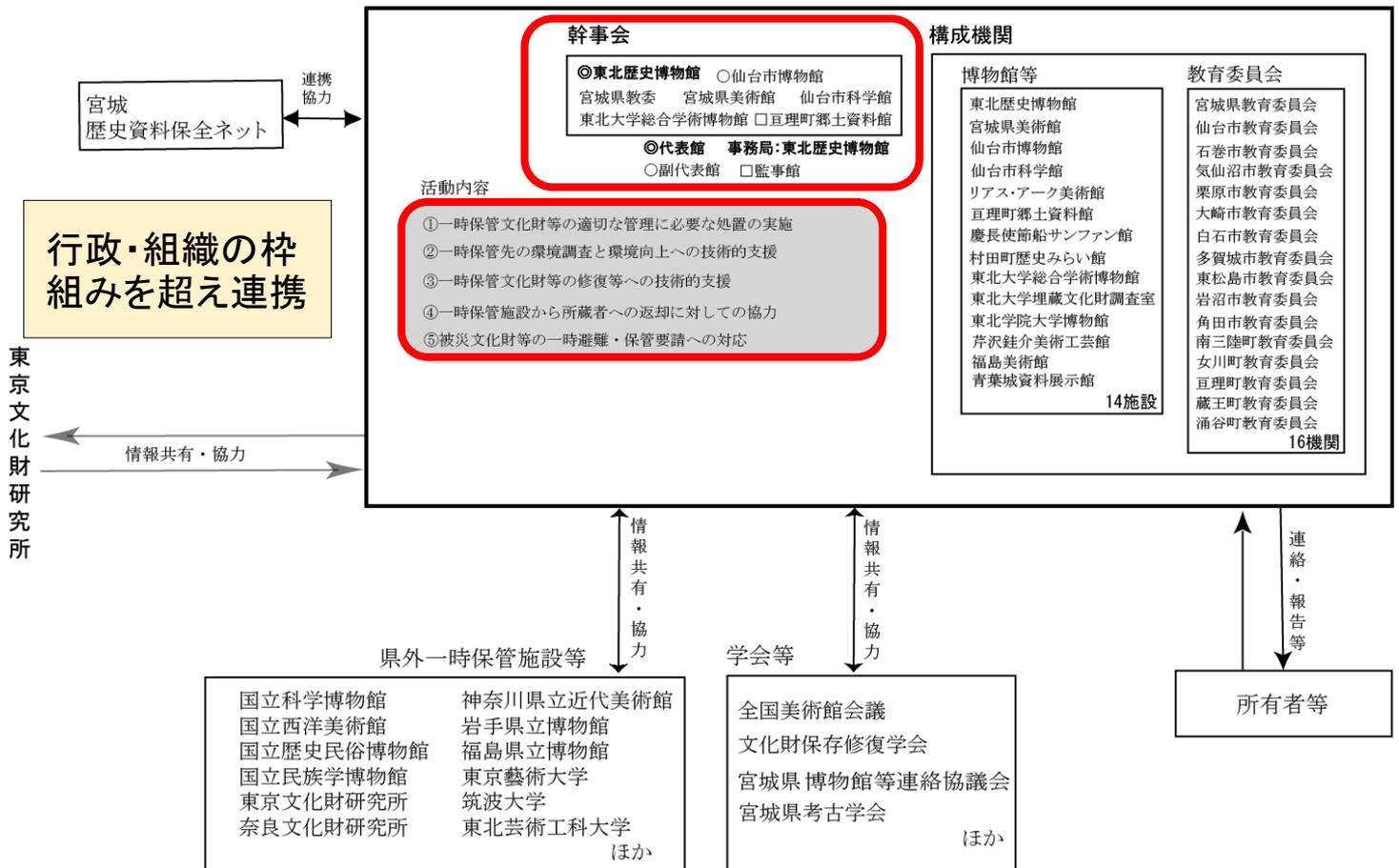
簡易的な保全処置技術・スキルの獲得  
保存環境管理レベルの  
保存施設の整備

その基盤

組織：宮城県被災文化財等保全連絡会議  
財源：被災ミュージアム再興事業



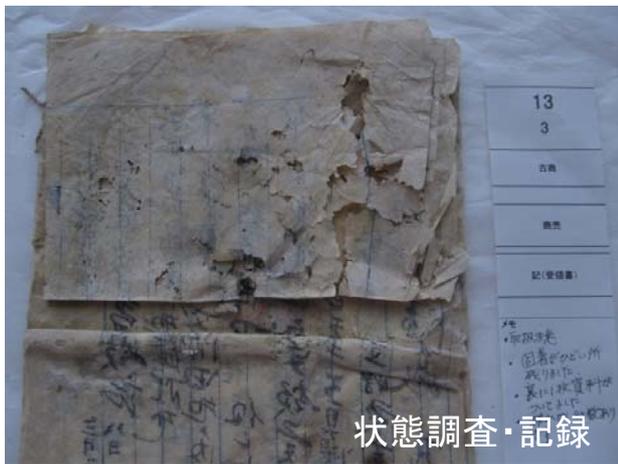
8



# 活動記録:2011.10-(抜粋)

年	日	曜	活動種別	活動	活動内容	参加機関等	備考	
2011	10	5	水	会議	・「宮城県被災文化財等保全連絡会議」準備会 ・第5回 幹事会準備会	・連絡会議準備会:13:30~15:40 於:東歴博 大会議室 ・幹事会準備会:16:00~17:45 於:東歴博 大会議室	・18機関27名参加、救援委員会2名オブザーバー	
2011	10	11	火	レスキュー	・石巻文化センター2F民俗資料の移送作業	・凸版印刷→石巻文化センター→凸版印刷	・文化庁、県文化財保護課、東歴博、凸版印刷	・日通4tトラック2台 文化庁 宇田川調査官立ち会い
2011	10	12	水	レスキュー	・石巻文化センター2F民俗資料の移送作業	・石巻文化センター→凸版印刷	・文化庁、東歴博、凸版印刷	・日通4tトラック2台 文化庁 宇田川調査官立ち会い
2011	10	21	金	会議	「宮城県被災文化財等保全連絡会議」発足	・参加は21機関(名取市は不参加)		
2011	10	24	月	処置	・宮城県内の仏像の応急処置等	・栗原市栗原寺・如来立像ほか、登米市上沼八幡神社・隨身像、登米市大徳寺・木造不動明王の脇仏の応急処置に関する協議	宮城県教委、東歴博、東文研、明古堂ほか	
2011	10	25	火	処置	・宮城県内の仏像の応急処置等	・名取市新宮寺文殊菩薩五尊像の応急処置。	宮城県教委、東歴博、名取市教委、東文研、明古堂ほか	
2011	10	28	金	レスキュー移送	①現地本部資材の移送作業 ②サンファン館仮置き資料の移送作業	①仙台市博保管のレスキュー資材を東歴博へ移送(9:00~10:40) ②サンファン館に仮置きしていた旧牡鹿町民俗収蔵庫の資料(民具・考古)を東北学院大学へ移送	①仙台市博、東歴博 ②県教委、東北学院大学	①ヤマト4t 1台 ②ヤマト4t 2台
2011	10	30	日	レスキュー	・歌津魚竜館の化石資料の移送作業(~11/1)	・歌津魚竜館の化石資料を仙台市科学館へ移送準備ほか。	・県文財課	ヤマト4名
2011	11	1	火	レスキュー	・歌津魚竜館の化石資料の移送作業(10/30~11/1)	・歌津魚竜館の化石資料を仙台市科学館へ移送。	・仙台市科学館、東北大学総合学術博物館、東北大学理学部、南三陸町、県文財	
2011	11	2	水	会議	・第1回 幹事会	・仙台市博(15:00~)	・仙台市博物館、仙台市科学館、東北大学総合学術博物館、宮城県美術館、東北歴史博物館、オブ:東文研(飯島)	
2011	11	12	土	資料調査	・丸森町(個人)の事前調査	・蔵資料(考古資料など)の状況確認	・東歴博、宮城県考古学会(藤沢・齋藤)、県文財	
2011	11	14	月	資料調査	・気仙沼市唐桑漁村センターの事前調査	・唐桑漁村センターの被災資料(生物標本、民俗資料など)の状況調査	・気仙沼市、東歴博、県文財、仙台市科学館	

# 保全処置：水損紙資料の安定化処置



状態調査・記録



ドライクリーニング

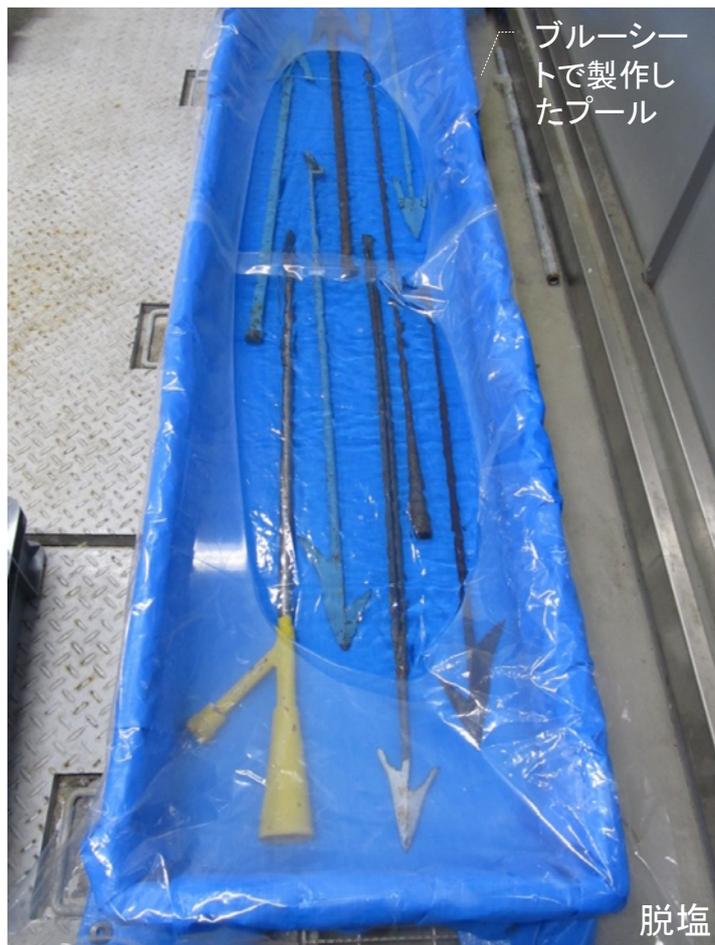


ウェットクリーニング



補修(補紙)

# 保全処置：脱塩，塗油



ブルーシートで製作したプール

脱塩



塗油(オリーブ油)

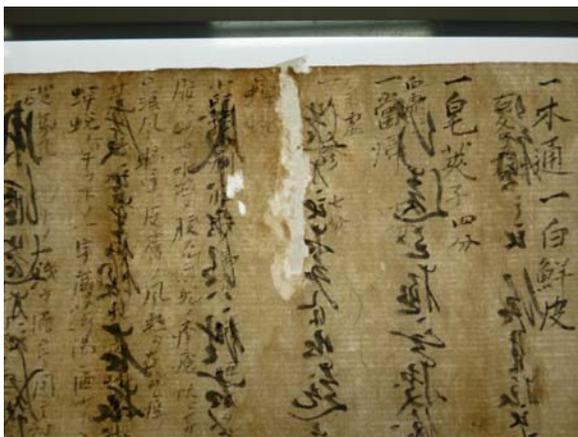


塗油後乾燥(なじませ)中の資料

# 保全処置 脱酸素処理



## 技術の獲得：研修会（紙資料簡易修復）



# 技術の獲得：研修会（漆製品の取り扱い）



15

# 技術の獲得：研修会（保存環境調査・管理）



毛髪式温湿度計の使い方	
	記録紙を準備します。 記録紙には、設置場所、設置開始日時を記録します。
	留め金具を操作し、外側のカバーを外してください。カバーを外す際に、温湿度計の針に引っかからないよう注意してください。
	記録ペンがついた針をドラムから外してください。
	ドラムを抜き、記録紙を交換してください。 ドラムは上からのぞき見るように見て、まっすぐ引き上げてください。 用紙は、左側の紙が上になり、抑え金具の真下に重なりがくるようにしてください。 また、用紙がゆがみがなく、ピンとはって、用紙がドラムの下側から浮かないようにしてください。
	×留め金具の真下に紙の境が来ていません。
	×記録紙がドラムの下にピッタリしていません。
	×記録紙がゆがんでいます。
用紙を抑え金具で押さえたら、もう一度ドラムを設置します。	

実務研修会配付資料(2015)

16

# 環境整備：清掃，配架，殺虫



清掃：石巻市湊二小(学生ボランティア)



配架：石巻市湊二小(学生ボランティア)



殺虫処理：石巻市湊二小(ジクロロボス)



殺虫処理：南三陸用伝習館(二酸化炭素)

# 環境調査：タイプの異なる一時保管施設



旧施設再活用型

タイプ別収蔵施設  
特性と留意点  
→他へ展開

廃校型

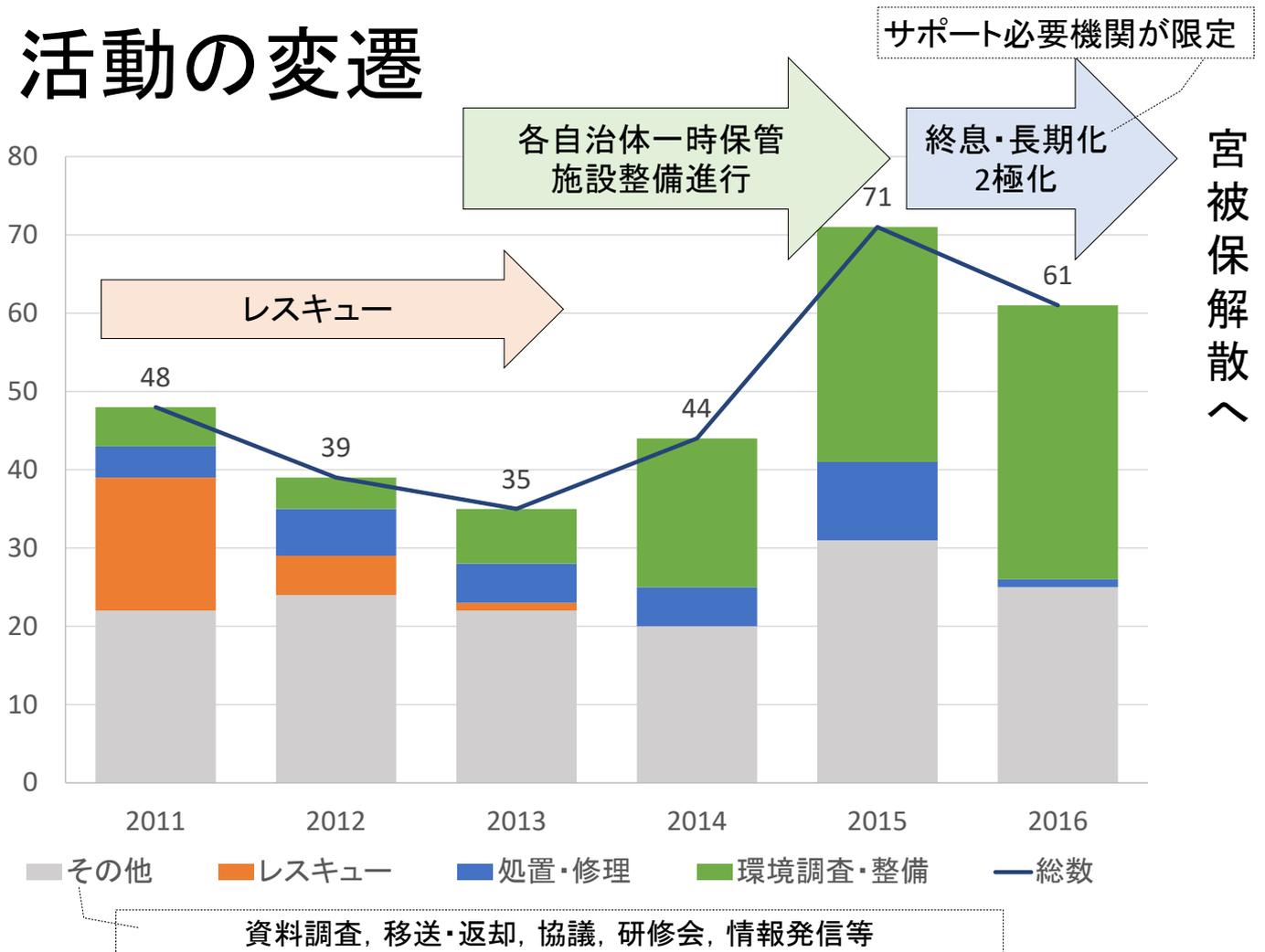
プレハブ型

# 活動記録:2015年度(抜粋)

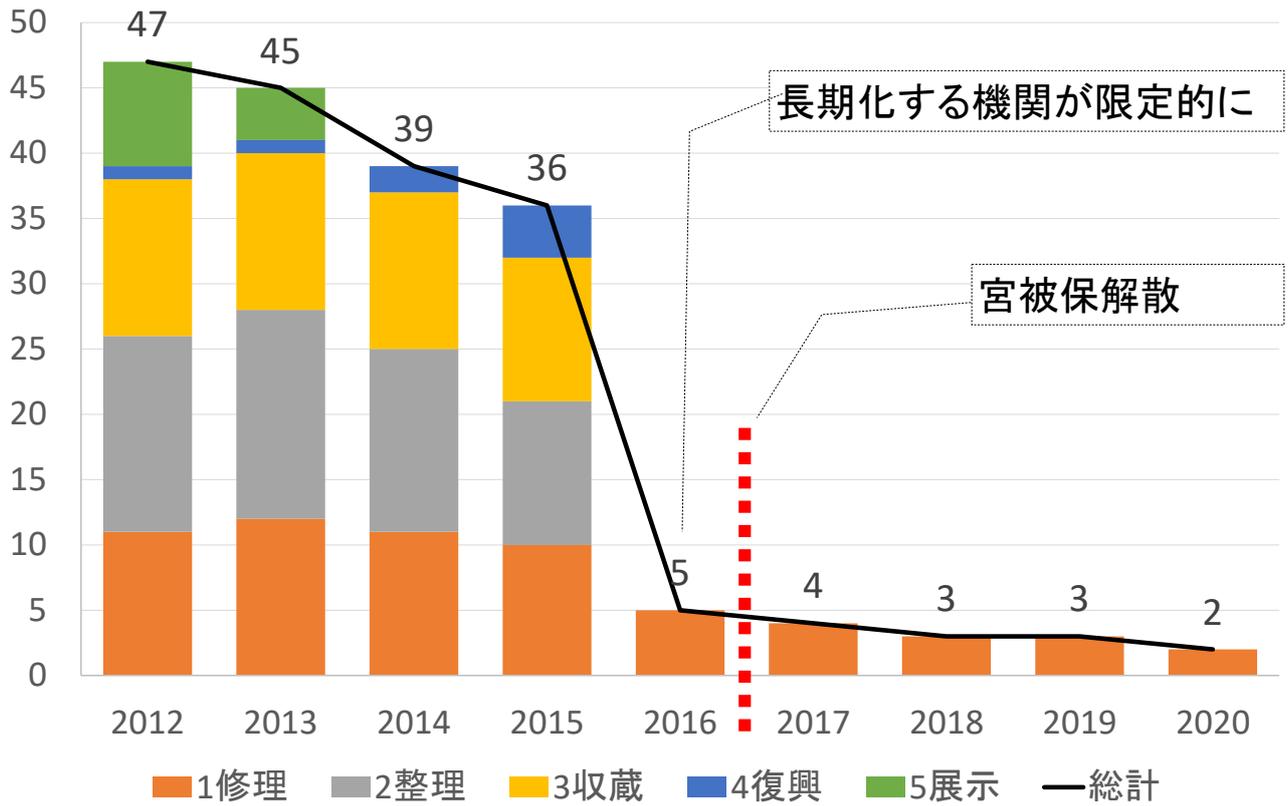
したいに活動内容  
に変化が...

連番	年	月	日	HP	活動			実施機関		備考
					種別	件名	内容	活動主体	参加機関名	
1	2015	4	8		環境調査	村田町収蔵庫環境調査	村田町教委所蔵の収蔵庫の環境調査を行った。主な実施項目は、文化財加害虫、空中浮遊菌、空気質(有機酸・アンモニア)調査である。	宮被保	村田町教委(岡本), 東北歴史博物館(及川, 芳賀)	
2	2015	4	9		環境調査	石巻市旧湊二小収蔵庫環境調査・宮城県榴ヶ岡収蔵庫環境調査	石巻市旧湊第二小仮設収蔵庫の環境調査を行った。主な実施項目は、文化財加害虫、空中浮遊菌調査である。今回は、1階新設収蔵庫における酸アルカリ変色試験紙の設置も行った。榴ヶ岡収蔵庫については、文化財害虫、空中浮遊菌、温湿度調査を実施した。	宮被保	石巻市教委(櫻田), 宮城県教委(天野), 東北歴史博物館(芳賀)	
10	2015	5	24		返却	石巻文化センター被災資料等返却	宮城県美倉庫で仮保管中の屏風収納箱及び付属品の黄袋(レスキュー番外)を、石巻教育委員会中野裕平氏へ返却した。	宮被保	宮城県美(小樽山), 石巻教育委員会(中野)	
11	2015	6	5		修復	石巻文化センター被災美術品移送	宮城県美倉庫で仮保管中の美術品(部分品含む)4件を、修復のため東北芸工大保存修復研究センターに移送(仙台→山形)。	全美	宮城県美(三上, 加野), 東北芸工大(藤原), ヤマトロジ仙台	全国美術館会議 救援・支援事業
12	2015	6	5		燻蒸	石巻文化センター被災美術品移送	東北芸工大保存修復研究センターで修復した美術品9件を東北歴史博物館に移送(山形→多賀城)。同館の燻蒸庫で燻蒸した。(～6月23日)	全美 宮被保	宮城県美(三上, 加野), 東北芸工大(藤原), 東北歴博(芳賀), ヤマトロジ仙台	輸送=全国美術館会議 救援・支援事業費 燻蒸=宮被保連事業費
17	2015	6	23		一時保管	石巻文化センター被災美術品移送	東北歴博で燻蒸した美術品9件を、宮城県美に移送して、収蔵庫内に収めた(多賀城→仙台市)。	全美	宮城県美(三上, 加野), 東北歴博(芳賀), ヤマトロジ仙台	全国美術館会議 救援・支援事業
21	2015	7	21		返却	東北大学図書館資料返却	奈良文化財研究所で真空凍結乾燥処理し、東北歴史博物館で一時保管していた東北大学図書館資料1箱を東北大学災害科学国際研究所に返却した。	宮被保	東北大学災害科学国際研究所(天野), 東北歴博(及川, 芳賀)	
33	2015	10	1		修理	多賀城市水損文書	東北芸術工科大学にて、水損文書資料の修復処置を開始した。	宮被保	東北芸工大(大山), 東北歴史博物館(芳賀)	
35	2015	10	13		環境整備	南三陸町	南三陸町の被災資料等の収蔵施設に関する温湿度、虫生息調査等を実施した。また、10月2日に協議した事項について、資料のクリーニング等の作業を実施した。	宮被保	国立民族学博物館(日高, 和高) 南三陸町教委(鳴瀬, 山内), 東北歴史博物館(小谷)	
36	2015	10	14		保存技術調査	被災資料由来揮発成分について	被災施設や被災資料から検出された揮発成分について、特定の物質に着目し、その原因や文化財への影響について共同で検討するための協議を行った。また、ある種の被災資料から発する異臭について原因と対策についても共同で調査することとし、具体的な進め方について協議した。	宮被保	筑波大(松井, 河崎), 日本無機株式会社(増田), 東北歴博(及川)	
44	2015	11	19		会議	第13回全体会	県内被災資料保全の現状と課題および今後の予定について	宮被保	加盟各機関	19

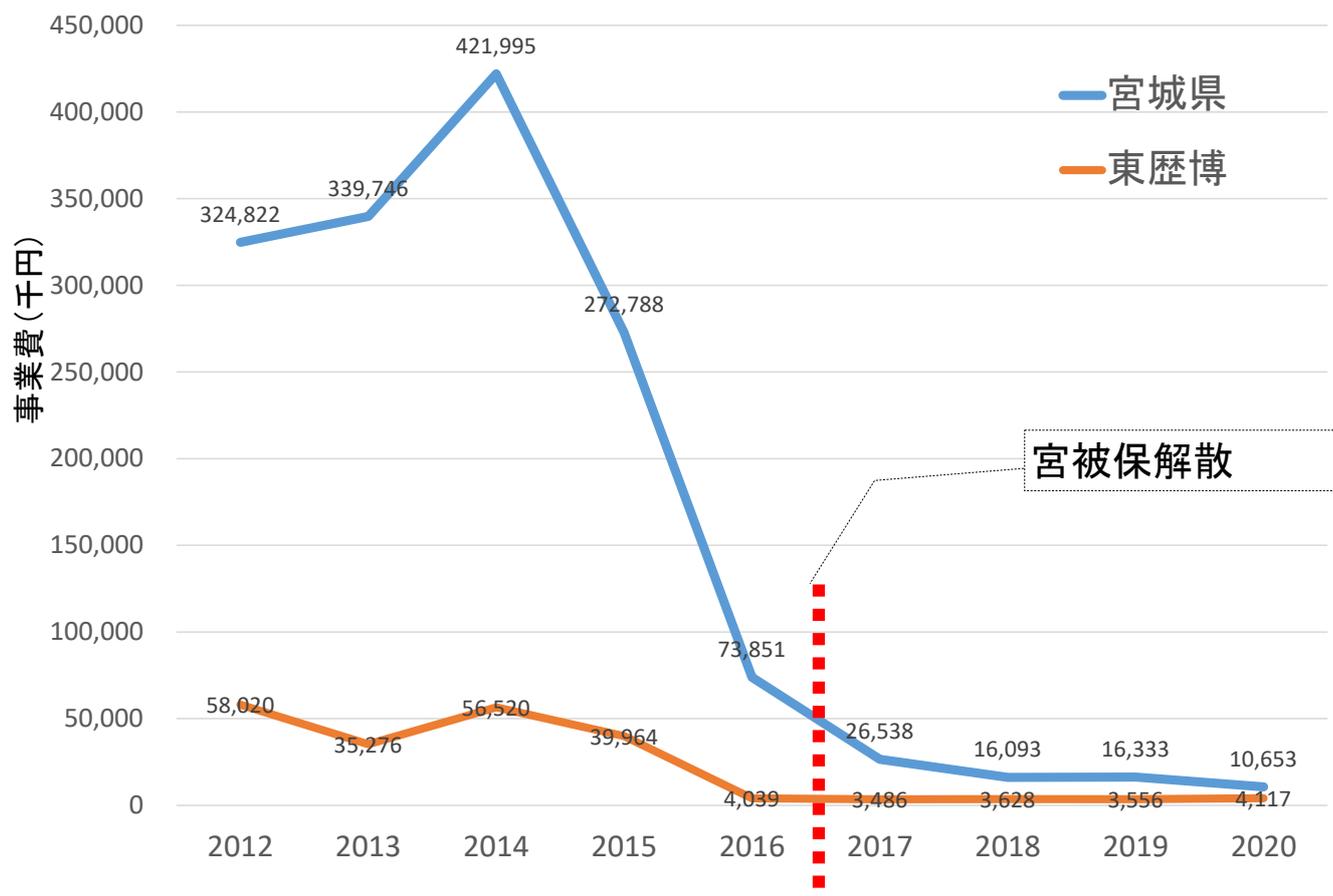
## 活動の変遷



# 宮城県の被災ミュージアム再興事業の推移



# 被災ミュージアム再興事業費推移



# “負”のできごとの“正”への転換



## マイナス

- 東日本大震災, 文化財の被災・喪失



## プラス

- 被災施設・機関
  - ネットワークの形成・強化
  - 各機関の保存技術向上
  - 視野の拡大
- 地域
  - 住民による文化財の保全活動の広がり
- 文化財
  - 貴重な資料の発見
  - 被災資料の保存技術から通常資料への応用・気づき
  - 新たな技術開発

被災土器洗浄ボランティア  
→考古学の学びへ  
石巻市雄勝観音寺大般若経修理  
→地域住民自身による修理へ

山元町合戦原遺跡出土遺物など

線刻画の保存処理技術  
低エネルギー低コストでの保存

次に生きる・活かす知見・経験の獲得

## おわりに

。。。。  
今後にむけて

### 防災への注力

- 改めて「被災しないこと」の重要性を再認識(実物だけでなくデータも)
- 防災意識の喚起
- 文化財所在調査

予め知ること対策が容易に

### 防災教育アイテムとしての被災物の保存

- 被災痕跡を残した保存
- 震災遺構

東歴博のテーマの一つ

### 収蔵空間逼迫化への対応

- B級保存(低エネルギー・低コスト)
- 廃校などの利用

理想的なA級ではないが「そこそこ」には

### 被災資料の保存技術の改善

- 応急処置・安定化処置
- 被災資料のその後